

科目名	哲学史特講	担当者	コサカ 小坂 クニツグ 国継	期間	通年	単位数	4
-----	-------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>現在、著しい発展を遂げつつある科学・技術、あまりに細分化された専門知識とその知解、さらには無秩序に拡散している夥しい量の情報等を目の当たりにするとき、現代人はそれらをどのように受けとめて自らの内に整理し統合するか、また自分の進むべき方向や取るべき態度をどのようにして決定するかについて明確な答えをもとめられています。その場合、人類の英知ともいべき哲学の歴史を学ぶことは大いに参考になるばかりか、重要な意義を有しているように思われます。この講義は、受講生が哲学史を学習することを通して、自分自身の生き方や考え方の基本を確立するようになることを目的としています。あらゆる学問のうち、特に哲学においては世界と人生について深い洞察力を身に着け、それを論理的に表現する能力を養うことがもとめられています。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 哲学史について高度に専門的な知識の習得を目標とする。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 レポートの作成にあたっては、基本教材および参考図書の読解に 25 時間以上、Manaba-Folio へのレポートの初稿から最終稿の提出にいたるまでのやり取りに 20 時間以上を目安としてください。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 Manaba-Folio を用いたインタラクティブな添削等を実施します。</p> <p>【学修方略 (LS)】 基本教材を読みこなすにはかなりの時間がかかると思われます。早めに読み始め、いくつかの参考書などを併読することを薦めます。疑問点が生じたら、分からないままに放置しないで、そのつどメールで気軽に質問をしてください。できるだけ早く返事をいたします。 哲学はほかの学問と較べると、文章が難しく、専門用語が理解いづらと思います。哲学辞典などを傍らにしなが、繰り返しテキストを読み返すことを推奨します。</p>		
スケジュール	<p>大学院事務課から指定されるレポート締め切り機関に留意して、最終原稿は指定期間内に提出できるようにしてください。</p> <p>レポートの締め切り間際になってから初稿を提出されると、添削が行き届かない場合も生じます。初稿はなるべく夏休み始め頃までには仕上がるようにしてください。何事も早め早めにおこなうことが肝要です。なお、一度も草稿の添削を受けないで、いきなり最終稿を提出することは認めません。</p> <p>以上のことは後期のレポートについても同様です。冬休み前には、現代哲学の諸動向を自分なりに俯瞰できるよう努力してください。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	①基本教材をよく勉強しているか、②レポートの内容が首尾一貫しているか、③単なる思いつきではなく、書いている内容に裏づけがあるか、④論旨が明快であるか、⑤日本語の文章として美しいか、等の観点から総合的に評価します。
	平常評価	20%	メールでの質疑応答や草稿の提出回数の多寡、あるいはメールのやり取りなどを通して窺われる研究態度などが評価の対象になります。
履修者への要望	<p>哲学を学ぶことは、単にテキストや参考書を読んで知識を習得することではありません。そうした知識を媒介として自分自身で考えることが大切です。「哲学を学ぶ」とは、「自ら哲学することを学ぶ」ことであることを常に銘記してもらいたいと思います。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 峰島旭雄編著『概説ギリシア哲学史』（ミネルヴァ書房，1989年） 教材名： ISBN:978-4-62-301875-8 3000円＋税
	タレスに始まる古代ギリシア哲学から中世哲学，近世哲学をへて，実存哲学，現象学，構造主義，マルクス主義，プラグマティズム，科学哲学等を含む現代哲学までを幅広く網羅したオーソドックな概説書です。発売以来，20版以上を重ねたポピュラーなテキストで，哲学史全般についての基礎知識を身に着けるには最適です。
参考図書	哲学は専門用語が難しいので，『哲学辞典』があると便利です。岩波書店から出ている『岩波哲学小辞典』の購入を薦めます。また哲学史に関する啓蒙的な書物は多数出版されていますので，実際に書店でご覧になって，自分に合ったものを購入されるといいでしょう。新書版や文庫版の廉価な本も多く出版されています。インターネットで検索してみてください。
履修上のポイント	「温故知新」という言葉がありますが，およそ歴史を研究するのは，現在，私たちの考え方を拘束している文化的・社会的な制約を取り除いて，それを相対化し，主体的で自由な考え方を会得するためです。そのために過去の歴史を紐解くことがきわめて重要な作業になります。その意味で，すべての歴史は現代史なのです。つねに自分の考え方や生き方と結びつけて哲学史を学ぼう心がけてください。
レポート課題 1	タレスからプロティノスに至るまでの古代ギリシア哲学者の「实在」観を概観しなさい。 <b>留意点：</b> 实在や世界の根本原理についての考え方がどのように変化していったかを自分なりにまとめることに力点をおくこと。
レポート課題 2	近代を代表する合理論と経験論がどのような哲学であるか，その特徴を述べ，それがどのようにしてカント哲学に総統一されていったか，その経緯を解説しなさい。 <b>留意点：</b> 個々の思想家の思想よりも，全体としての哲学の発展の経緯が明確になるような形でレポートを作成すること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 小坂国継・本郷均編著 教材名： 『概説現代の哲学・思想』（ミネルヴァ書房，2012年）ISBN:978-4-62-306110-5 3500円＋税
	現代の哲学や思想を 17 の学派やテーマ(問題領域)に分類して，それぞれの考え方を明快に解説したテキストです。おそらく現代哲学や思想全般を網羅したもっとも体系的な書物ではないかと思えます。これを読めば単に哲学だけでなく，医療倫理，環境哲学，深層心理学，科学技術等の先端知識を得ることができると思います。
参考図書	この種の参考書も書店に多く出回っていますので，自分で実際に手にして，読む価値があるかどうか自分で判断してください。インターネットで検索し，新書本や文庫本のような廉価本の中から選ぶことを薦めます。
履修上のポイント	現代は物の考え方や価値観が多様化している時代だといわれます。いろいろと雑多な思想が混在して，相互に争いあっている状態です。履修に際しては，ただ単に知識の習得に専念するのではなく，自分自身の視点や考え方を確立するよう努力してください。
レポート課題 1	基本教材で取り上げられている 17 のテーマの内から，一つあるいは複数のテーマを取り上げて，その思想内容を解説し，併せてそれについての自分自身の意見を述べなさい。 <b>留意点：</b> 現代思想には相互に関連のある思想や領域がありますので，できるだけ複数のテーマにまたがってレポートを作成すること。
レポート課題 2	レポート課題 1 で取り上げなかったテーマの内から，一つあるいは複数のテーマを取り上げて，その思想内容を解説し，併せて自分自身の考えを述べなさい。 <b>留意点：</b> レポート課題 1 の場合と同様です。